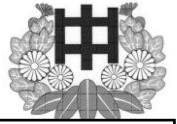


【学校教育目標】

郷土に誇りを持ち、未来を拓く、心豊かな子どもの育成

「やったことないにチャレンジ」する生徒・職員・学校



合志中学校だより

第16号 令和6年3月18日(月) 文責 校長 中村 浩
主幹教諭 吉良 洋輔

【第77回卒業証書授与式】

3月8日(金)、合志市政策監 吉村幸一 様をはじめ、多くの来賓の皆様方にご臨席いただき、第77回卒業証書授与式が行われ、卒業生233名が合志中学校を旅立ちました。卒業生は、2年生まで新型コロナウイルス感染症拡大により、数々の学校行事が変更や縮小され、これまでに経験したことのない困難な中学校生活でした。3年生になり、新型コロナウイルス感染症が5類移行となって、行事も従来通りに戻りつつありましたが、その中でも知恵を出し工夫を重ね自ら進んで行動しました。この経験を大きな力に変え、4月から新しい環境の中で精一杯頑張ってくれることと信じています。1・2年生には、卒業式を迎えるにあたり、前日の7日は校舎内外の清掃、体育館内の設営、教室内の飾り付けなど、一生懸命準備を進めてくれ、素晴らしい卒業式となったことに、本当に感謝しています。



(前略)皆さんの輝かしい門出にあたり、はなむけの言葉を贈ります。それは、「できない理由を探さない、やったことないからこそチャレンジ」です。皆さんには以前、次のように言いました。日常的に「やろうと思ったけど気が進まなかった」「協力してくれる人がいないから」「人に悪く言われそうだから」「やっても無駄だから」などなど、まずできない理由を頭に浮かべている人はいませんか。そして「そのうちに」「条件がそろったら」「余裕があったら」と先送りにしている人はいませんか。できない理由を探すことから脱却し「やったことないにチャレンジ」する合志中の皆さんに期待しています。覚えていますか。この一年をふりかえると、皆さんは新たな競技や応援団、ダンスなどにチャレンジした体育大会、対面で素晴らしいパフォーマンスを見せたわかたけ祭や合唱コンクール、全国大会や九州大会で好成績を収めた部活動、そして自分の将来を切り拓く進路選択など、たくさんのチャレンジの連続でした。その成果もさることながら、何よりも取り組む姿勢に心うたれました。これから皆さんには、前途洋々たる未来がありますが、希望の灯が消えかかり意気消沈するようなことが訪れるかもしれません。しかし、大切なことは、未来への果敢なチャレンジであり、どのような困難にも下を向くのではなく前進し続けることだと思います。大いなる夢を持ち、目的地へ早くつくことのみを求めず、足の早い旅人ではなく、大地をしっかりと踏みしめ、肝心なものを見落とすことなく、その夢の実現に向け大きくはばたいてほしいと思います。(後略) 【校長式辞より抜粋】

いよいよ、第1学年・第2学年が修了します。そして2週間後には、それぞれ2・3年生に進級することになります。卒業生の頑張りを引き継ぎながら、新入生のお手本となって、新しい合志中学校の歴史を創っていくよう期待しています。

【1年間ありがとうございました】

「一期一会」という言葉があります。生涯にただ一度会うかどうかかわからぬほどの縁、出会いを大切にすることを例えたものです。昨年4月、新しい学級や部活動で、仲間と、先輩や後輩と、先生方と多くの出会いがありました。春は別れの季節であるとともに、新たな出会いの季節でもあります。年度を終えるこの時期に「人との出会いを大切に」をもう一度心の中にかみしめて、新たなスタートの準備をしてほしいと思います。ご家庭での春休み中の見守りをお願いします。

今週末の22日(金)には、令和5年度の修了式を迎えることとなります。保護者、地域の皆様には、様々な面からご支援やご協力をいただき、本当にありがとうございました。